

刻む会 たより

No.65

2017. 7. 6

長生炭鉱の水非常を歴史に刻む会

共同代表

井上洋子・内岡貞雄・木村道江

事務局

宇部市常盤町一―一九(宇部緑橋教会内) TEL0836(21)8003

カンパ振込先

ゆうちょ銀行 口座番号 01590732405

名義 長生炭鉱の「水非常」を歴史に刻む会

年会費

《正会員》個人3,000円 団体5,000円 《賛助会員》個人1,000円 団体2,000円

ホームページ

<http://www.chouseitankou.com>

メール

kizamukai@chouseitankou.com (※アドレスが変更になりました)

「ピーヤ」(海の墓標)にお参りできるように！

共同代表 内岡貞雄

(1) 長生海岸護岸工事

高潮防災工事が2016年度から進んでいる。昨年度は写真1のように、かさ上げが床波とこなみ方面に三十メートルほど行われた。今後さらに延長されるようで、そうなれば海岸道路からピーヤは見えなくなる。同時に、海岸に沿って消波ブロック設置が予定されている。計画では長生海岸から床波漁港、さらに向坂海岸(むかいざかいがん)にいたる海岸が対象になるという。



1. 白い嵩上げ部分 (高さ 1m)

この情報に驚いた私たちは、宇部市長に対し、二回にわたって要望書を提出した。内容は次の通りである。

1. 現在の海岸に降りる場所から、ピーヤを正面に見る海岸までの約三十メートルは、消波ブロックを設置しないようにしていただきたい。

2. 1の要望が防災上の観点から難しいと判断された場合は、現在の海岸に降りる場所を黒崎側へ三十メートル移動し、ピーヤを正面に見る海岸部分(五メートル幅)は、消波ブロックを設置しないようにしていただきたい。

(2) 宇部市は発想を変えてほしい

市の回答は、私たちの要望には応じられないという冷たいものだった。しかし、そこが遺族にとって、海底下に眠るご遺体へお参りする大切な場所だということは、市も充分に認識していた。そうであるならば、市は護岸工事を防災上の観点だけで捉えないで、国際的な観点を加味した対策を考えてもらいたい。

市水産振興課によると、護岸工事の予算は総額十億円、2017年度予算はわずか800万円

(含・国・県・市)であ

り、江頭川えがしらかわ河口修復工事や向坂海岸の消波ブロック工事を先行させ、長生海岸の工事はおよそ十年先になるだろうという。しかし、先の話とはいえ護岸工事は確実に行われる予定だ。

宇部市は発想の転換をして、多くの人々が長生海岸のピーヤを望めるようにしていただきたい。

(3) 「ピーヤ」は市の観光に寄与

宇部市には毎年、韓国から一万人以上の観光客が訪れる。一昨年度の冬までは臨時便チャーター機を飛ばしていたが、昨年11月から今年3月まではインチョン(山口)宇部の国際定期便が週3往復運航した。今年も夏場は運航されないが、今年から来年の冬場には国際定期便が運航される様、交渉中という。このように航空条件の整備とともに、韓国からの観光客は年々着実に増加している。



2. 黒崎(くろさき)から続く消波ブロック

そこで提案！

ピーヤの見える長生海岸に展望公園（仮称）をつくり、ときわ公園くピーヤ展望という新しい観光コースを設けていた
だきたい。

こうした宇部市の取り組みに賛同するのは韓国旅行会社だけでなく、何より韓国の観光客が喜ばれることは間違いないと思う。

市は前向きに検討し、是非実現してもらいたい。



3. 向坂に積まれた消波ブロック

第6回 春のフィールドワーク

ー 遠方からの参加者も加わってー

共同代表 内岡貞雄

【はじめに】

4月29日（土）、第6回春のフィールドワークが井上洋子共同代表の「遺骨収集」への思いを込めた挨拶ではじまった。追悼碑の前にある花瓶に、ひまわりの花がいっぱい添えられ、参加者全員で犠牲者のご冥福を祈った。



ちなみにヒマワリの花言葉は「愛慕」というそうだ。

【フィールドワーク】

今回、初参加が5人おられた。いずれの皆さんもインターネットを見て参加されたと言う。そういう意味では情報提供が益々重要になっていく。また、事前にフィールドワークの目玉になる内容を紹介しておけば、興味を持った方々が多く参加されるのではないだろうか。



今回は、長生炭鉱・本坑と二坑を比較しながら現地を回った。「男たちの碑」（「殉難者之碑」1982年建立）は、4月末は草ぼうぼうだったが、5月下旬にはきれいに刈り取られていた。関係者が年にほんの数回だけ、掃除に来られているらしい。周南市からの参加者は、人間魚雷回天について、「平和」の観点から訪問者に説明していると話された。

小・中・高・大の若い方々の参加がもう少しあれば申し分なかった。

【親睦交流会】

食材の準備や古着などをたくさん揃えて、皆さんをお待ちした。地元住民の方の参加はあったが、今ひとつPR不足だった。事前に一人一人、具体的にフリーマーケット等の説明をすることが必

要だろう。事前に少し時間をかけて地元を回るようにしたい。

今回は3人の美術家
が参加され、話が盛り上がった。こうした出会いを大切にしたいと思う。また、宇部市在住の在日のお店屋からたくさんのお肉を提供していただいた。後日、交流会を持ち、そこにお店のご主人と奥さまをお招きした。とても楽しいひとときを持てたことは収穫の一つだった。

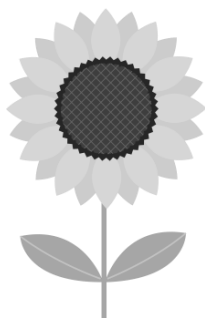


【今後の課題】

マスコミへの事前連絡を徹底したい。今後は、連絡係を明確にしていきたい。また、ここ三年間、一度でも参加いただいた地元の皆さんに、事前にハガキ等でお知らせする工夫も必要であろう。

交流会の食事は、焼肉のほか、韓国ラーメンなど手軽なメニューも必要かなという声があった。地元の皆さんが参加しやすい交流会を工夫していきたい。

2012年から始まった春のフィールドワークは、学習内容の充実化と地元の皆さんとの楽しい交流を目指して、少しずつ、着実に進んでいるように思う。



「長生炭鉱」に関する聞き取りから

共同代表 内岡貞雄

五藤美智子さん

（水没事故時は西岐波小学校一年で、お父さんの亦四郎さんは会社の保安技術担当者でした。）

○1932年の本格的操業から長生炭鉱は、宇部鉱業組合に加入していなかったようです。それゆえに長生炭鉱は他の炭鉱と交流のない閉鎖的な鉱山でした。（五藤美智子著『おかあちゃん』より）

○1942年2月3日の「水非常」の時、お父さんは坑内にいました。真っ黒い海水の中を、体力の限界まで頑張り坑口に辿り着きました。その後、病院に緊急入院しました。

○坑口から100メートルほどは20度の斜坑で、水平坑道に移る傾斜変換点付近を坪下（つぼした）と呼んでいました。そこは空の炭車（10数台）と入れ替わる操作場でした。

○炭鉱から少し離れた大沢の社宅に住んでいた時、炭鉱に関係していない近所の人たちは長生炭鉱のことを良く言いませんでした。「朝鮮炭鉱」と呼ばれるほど朝鮮人労働者が多かったこともありますが、炭鉱そのものに対して、皆さんはいい印象を持っていませんでした。

※今年の2月3日、「刻む会」運営委員の藤本一規さんと一緒に聞き取りを行いました。五藤さんは当時のことをよく記憶されており、とても親切に対応していただきました。

中元寿一さん

（1930年1月1日生まれで、水没事故当時は西岐波小学校6年生でした。伯父の中元琴二さん享年47歳が「水非常」でお亡くなりになりました。）

○犠牲者の琴二さんは父の兄にあたり、広島の大工職人さんでした。その技術を買われ、長生炭鉱内の坑木枠の取り付けの仕事をしました。職員社宅は旧長生炭鉱駅のすぐ西側の新しい社宅で、24時間、巻揚げモーター音が聞こえていました。

○事故当日、父は（犠牲者・琴二さんの弟）坑口に飛び込み琴二さんを捜しましたが、見つめることは出来なかったと聞きました。琴二さんには4人の子ともさんがおられ、一番下の娘さんが広島に住んでおられます。何度か息子さん（寿文さん）が同行して「殉難者之碑」（1982年4月建立）にお参りに来たそうです。

○父の多一は長生炭鉱で警備の仕事をしました。一度、北九州の八幡（香月）の炭鉱に勤めましたが、また長生炭鉱に戻ってきました。家の近くを宇部線が走っており、よく列車が通っていました。石炭を積んだ貨車も見ることがあります。自宅の近くに火葬場があり、そのくさい臭いを覚えています

○「合宿寮」は朝鮮人が入っていました。高い板塀で囲まれていたので目立ちました。父から聞いた話ですが、「合宿寮」から逃

げるために板塀の下を掘って逃げた朝鮮人もいたようです。

○水没事故のことはよく覚えていません。当時西岐波小6年で、同じクラスの山田春子（金春粉・キムチュンボン）さんとは仲良しでした。

※筆者は中元寿一さんのことを金春粉さんの筑豊の友人を通じて知りました。金春粉さんは、2003年・61周年の追悼集会でお話しいただきました。

今年3月17日、「刻む会」共同代表の木村道江さんと一緒に中元さんのご自宅に伺いました。87歳になっておられました。とてもお元気で、2時間余りにわたってお話を聞くことができました。感謝いたします。



ピーヤ（海の墓標）の長生海岸



去る5月20日、「刻む会」総会後に
映画「払い下げられた朝鮮人」
の上映会を開催しました。

参加者の感想及び、製作者である呉充功
監督より次回作に向けてのメッセージを
いただいていますので、掲載します。



映画「払い下げられた朝鮮人」を観ての感想

運営委員 藤本一規

長生炭鉱の水非常を歴史に刻む会総会后、
呉充功監督の映画「払い下げられた朝鮮人」
の上映会が行われました。

1923年9月1日関東大震災後に東京と
横浜地域で朝鮮人が官憲や「自警団」によっ
て集団虐殺され、その犠牲者は約6600人
と推定されます。

その後、軍隊は朝鮮人を「保護するため」
にとの名目で関東各地から千葉県習志野収
容所に集めました。

習志野収容所の朝鮮人らは、近隣の地域の
自警団に「払い下げ」られ殺されました。

その時の様子を記録したある村人の日記が
残っています。

「(九月)八日、又鮮人を貰ひに行く九時
頃に二人貰って来る。都合五人(中略)穴を
掘り座らせて首を切る事に決定。(中略)穴
の中に入れて埋め仕舞ふ。皆労れたらしく皆
其処此処に寝て居る。夜になると又各自場の
警戒線に行く。」

虐殺された朝鮮人の遺体の内、6体は、習
志野の近くの「なぎの原」と呼ばれる原っぱ
に埋められ卒塔婆が建てられました。

この事実を知った韓国の人々の力で、19
85年、観音寺内に鐘楼が建立されました。

それから13年後の1998年なぎの原の非
公開発掘により6体の遺体が発見されました。

1999年、観音寺の慰霊の鐘閣のそばに、
旧高津区特別委員会、観音寺、千葉実行委員
会の三者により犠牲者の追悼碑が建立、納骨
されました。

この映画は、1986年に製作されたもの
です。

自警団で朝鮮人の虐殺に参加した方や当時
の警察官、また朝鮮人の遺体を観た人などが
その事実を語っています。

関東大震災が起きたのは1923年。90
年以上の時がたち、当時を知る方はほとんど
亡くなられたでしょうが、映画は、その事実
を克明に残しています。

大震災の時に朝鮮人というだけで、600
0を超える人々が殺された事実を私たちは忘
れてはなりません。

ドイツのヒットラー政権がユダヤ人を大量
に虐殺しましたが、その事実には匹敵する無謀
さです。

呉監督は、「1923 ジェノサイド、9
3年間の沈黙」を製作しています。

この映画は、当時の犠牲者の遺族を韓国で
探しインタビューを行ったものです。

遺族は、「罪もない人をなぜ殺したのか」
と涙を流します。

よりよき未来のために、この事実を決して
私たちは忘れてはなりません。

呉監督の最新作を大いに楽しみにしていま
す。

新作「2013ジェノサイド 93年の沈黙」(仮題) 制作に向けて

映画監督 奥・チヨウゴン 呉 充 功

長生炭鉱の水非常を歴史に刻む会の活動に心より敬意を表します。刻む会の大切な総会の場で昨年の「隠された爪跡」上映に引き続き、「払い下げられた朝鮮人」を観賞していただき感謝にたえません。

現在、私は新作(仮題)「2013 ジェノサイド 93年の沈黙」を製作中です。関東大震災から88年が経過した2011年3月、私自身茨城県で東日本大震災に被災し、身体と精神が苦しんだ時期がありました。そんな私を再び映画製作に進む力と励ましをくださったのは姜徳相(カン・ドクサン)教授でした。2012年3月に、姜徳相滋賀県立大名誉教授から会いたいと連絡が入りました。関東大震災朝鮮人虐殺を追跡したドキュメンタリー映画「隠された爪跡」及び「払い下げられた朝鮮人」に続く新作が未完成のままである、一日も早く製作に取り掛かるべきではないかと、姜徳相教授から新たな課題を突きつけられました。

東京荒川、千葉船橋、八千代の朝鮮人虐殺事件を克明に記録した映画に引き続き、神奈川県、埼玉県、群馬県の朝鮮人虐殺事件を映像化する重い課題が私に未だ残されていました。しかしながら、88年の歳月は再び関東大震災の記録を掘り起こし、新しい証言者を探

すことは困難でありました。80歳を超された姜徳相教授の50年に渡る研究生活にスポットを当てながら、被災した茨城の自宅を補修しないまま、私は再び姜徳相教授の自宅でインタビューを開始しました。神奈川県、埼玉県、群馬県で26年ぶりに何とか重い体を起こしてカメラを回し始めました。そんな時、韓国国内で関東大震災被虐殺者の遺族の調査が始まったという情報が入ってきました。

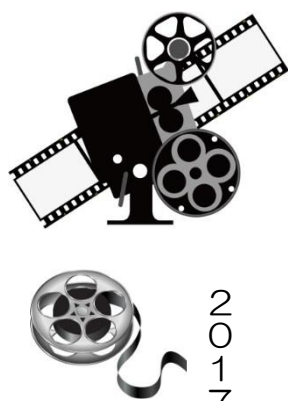


韓国のご遺族に取材する呉監督(左側)

足掛け5年間、毎月のように日韓を往来しながら、遺族探しを呼びかけ、ドキュメンタリー映画「隠された爪跡」と「払い下げられた朝鮮人」(ハングル字幕入り)の巡礼上映を韓国各地で続けました。その結果2017年の今日までに、韓国国内で新たなご遺族と証言者10名を探し出すことができ、犠牲者の家門に残されていた古い族譜と戸籍調査などの取材調査と撮影を重ねてきました。

驚いたことに7名のご遺族たちの祖先が、日本の自警団による被虐殺者であることを発見しました。中には、本籍がわからないまま日本に祖父名前が刻まれている墓碑があり、静かに追悼が重ねられてきた歴史があることも、ご遺族は私が持参した写真と映像で初めて知ることになりました。

この映画パイロット版は、日韓に埋もれていた朝鮮人虐殺事件の犠牲者の家族史を各地を歩き回って歴史を掘り起こし、私自身、難聴というハンディキャップと闘いながら、粘り強く、35年ぶりに新作完成に全力を傾注している中間報告です。在日朝鮮人と韓国国内の遺族はご高齢になり、犠牲者である家族のご遺骨と虐殺事件の真実を知る時間は多く残されていません。新作の映画製作に対し、皆様のご関心とご支援を心よりお願いいたします。



2017年6月15日

深く心を打たれた！モンダンヨンピルコンサート

松岡節子

2012年から日本の各地でコンサートを行い、朝鮮学校への支援をしているモンダンヨンピル（韓国のアーティストの市民団体）が、6月23日に下関に来ました。

下関勤労福祉会館で行われたコンサートでは、山口朝鮮学校の子供たちとのコラボレーションもありました。かわいい幼稚園生の歓迎の遊戯に始まり、クォンヘヒョ代表の挨拶では、「この朝鮮学校で学ぶ子供たちが日本社会の中で、差別の象徴ではなく、平和の象徴と成ることを！」との言葉に胸を衝かれました。

韓国でも著名のアーティストの歌と演奏の魅力に引き込まれ、手拍子、喝采の渦でした。最後に、初中級生徒とのコラボレーションがありました。

「これがウリハッキョだ」を全員で歌いましたが、会場に映し出された校舎の映像に「小雪が舞い込む教室で」…「この学校で学び続けた」…という歌詞が映し出され朝鮮学校を守り続けて来た思い・歴史が切々と伝わって来て、胸が熱くなりました。

今回のモンダンヨンピルとの出会いと交流が、どれほど朝鮮学校の子供たち、先生方、オモニ・アボジ、同胞の方々を力づけたかと思う反面、日本人としての責任を痛感しました。



韓国で有名なアーティストの演奏



代表のクォン・ヘヒョ氏(左)



朝鮮学校の子供達とのコラボ

モンダンヨンピルの一団は、コンサート後の6月25日(日) 長生炭鉱のフィールドワークに訪れました。



2017年3月25日

第10回 強制動員真相究明全国研究集会 in 松本市 あがたの森文化会館講堂

及び、3月26日フィールドワーク 参加報告

運営委員会の依頼で「刻む会」会員の大野剛義氏が参加



翌日の地元・信濃毎日新聞では記事に取り上げられました。



松本駅には、松本市/松本商工会議所/松本観光コンベンション協会/JR 松本駅による歓迎の横断幕が張られていました。

3月25日の研究集会では、京都大学名誉教授・水野直樹氏の基調講演をはじめ、全国各地からの調査報告や問題提起がありました。

内容が膨大なので、詳しく知りたい方は、報告集があるので、強制動員真相究明ネットワーク事務局までお問合せ下さい。

問合せ先 090-8482-9725 (中田光信さん)



3月26日 フィールドワーク 「里山辺:地下工場建設跡を訪ねて」



昔の排気口が今の入り口となっている。



こういった普通の山に地下壕が掘られた

中は岩盤を発破で砕いて掘り進んだ。
外部と隔離された朝鮮人が働かされていた。



ちなみに…開催された日は、長野は雪でした。



十字架跡



中は意外と広い

去る 3/25～31 に 宇部市渡辺翁記念会館 で開催された
「第2回宇部現代美術展」 において、地元美術家の **原井輝明さん** が
発表して下さった作品をご紹介します。 （原井さんは、今年の春のフィールドワークに参加して下さいました。）

※**原井輝明さん** 山口県出身／現代美術家

東京芸術大学美術学部油画卒業、同大学院美術研究科油画専攻修了。宇部市にてアトリエ「現場」を構え、原井さん率いる FCA（おともだちコンテンポラリーアート）の主導で宇部の商店街を中心に商店街のシャッターを彩る「シャッター壁画プロジェクト」を展開している。エネルギー美術賞受賞、ギャラリーでの個展、グループ展等多数。



全体をみるとこんな感じ。犠牲者数 183 名と
同数の鳥たち。



一つ一つの鳥たちは石炭を並べて作られて
いる。

미즈도리다지(水鳥たち)

約 10～15m

インスタレーション(石炭)

宇部は石炭で栄えた街であることはよく言われているにも拘らず、そこで働いていた朝鮮の人々の事はあまり語られることがない。理由はともかく、危険な仕事の労働力を海外に求め、結果、この記念館に代表される様に宇部の繁栄に繋がったことは事実である。残念なことに、日本人は寄り付かない危険がわかっていた長生炭鉱で海外の労働者が働き、事故が起きた。183 名の犠牲者のうち約 7 割の 137 人が朝鮮人労働者だった。その犠牲者の遺体は 1 人も引き上げられることなく今も海の底に眠ったままである。

この作品では、戦後、要注意歌謡曲に指定された「イムジン河」（現在は解除）に詠われている『水鳥』をモチーフに、星のまたたき、或は十字架にも見える形を、朝鮮半島の方角へ向けて描いた。（偶然にも村野藤吾設計のこの建物の形や方向も重なっていることに驚いた。）

長生炭鉱の水没事故が、歯切れの悪い言い方でなく経緯のある扱いがなされ、宇部の歴史の一部となることを祈る。

原井輝明

2016 年度 会計報告（2017/03/01～2017/3/31）

（円）

【一般会計】

	科 目	年度予算	期間実績	実績累計	率	備考
歳入						
1	会費	360,000	19,000	488,000	135.6%	
2	寄付金	1,200,000	104,700	927,101	77.3%	※
3	物販	60,000	11,800	31,900	53.2%	
	証言・資料集	30,000	5,200	18,800	62.7%	
	その他	30,000	6,600	13,100	43.7%	海苔販売
4	雑収入	5,000	0	4,080	81.6%	
5	前期繰越金	0	0	0		
6	特別会計より繰入	0	0	0		
	合 計	1,625,000	135,500	1,451,081	89.3%	
歳出						
1	事務費	55,000	2,376	56,268	102.3%	
2	広報費	280,000	54,838	191,387	68.4%	
3	会議費	30,000	30,000	30,000	100.0%	
4	追悼碑管理費	10,000	338	8,173	81.7%	電気代
5	活動費	820,000	592,412	800,623	97.6%	
	学習会等	70,000	0	62,029	88.6%	
	追悼集会	500,000	581,520	581,520	116.3%	
	その他活動	250,000	10,892	157,074	62.8%	諸派遣費
6	他団体会費等	50,000	13,000	26,000	52.0%	
7	雑支出	40,000	3,880	27,876	69.7%	
	手数料	20,000	3,880	22,876	114.4%	
	その他	20,000	0	5,000	25.0%	
8	予備費	40,000	0	0	0.0%	
	小 計	1,325,000	696,844	1,140,327	86.1%	
9	特別会計へ繰出	300,000	310,754	310,754	103.6%	
10	繰越金	0	-872,098	0		
	合 計	1,625,000	135,500	1,451,081	89.3%	

※ 寄付者（敬称略）

赤間セツコ 大隅 督子 岡田 淳子 鎌野 真 杵渕 智子 木村 和彦 島村真知子
鳥家 治彦 長澤連三郎 福田富美子 福田 安子 堀江 節子 医療生活協同組合健文会
日本基督教団隠岐教会 追悼集会参加者有志 （その他匿名6名）

会員数（2017 年 6 月 28 日現在）

正会員：95 名、賛助会員：209 名（計 304 名）／寄付者：101 名／総計 405 名

【追悼碑特別会計】

収入			支出		
科目	金額	備考	科目	金額	備考
繰越金	1,978,116				
繰入金	0		繰越金	1,978,116	
合 計	1,978,116		合 計	1,978,116	

【遺骨収集等特別会計】

収入			支出		
科目	金額	備考	科目	金額	備考
繰越金	1,484,080		DNA 検体採取鑑定	58,320	
繰入金	310,754		繰越金	1,736,514	
合 計	1,794,834		合 計	1,794,834	

以上感謝をもってご報告いたします。
引き続きのご支援をお願い申し上げます。

2017 年度 会計報告 (2017/04/01～2017/6/30)

(円)

【一般会計】

	科 目	年度予算	期間実績	実績累計	率	備考
歳入						
1	会費	400,000	314,000	314,000	78.5%	
2	寄付金	1,000,000	95,328	95,328	9.5%	※
3	物販	40,000	4,700	4,700	11.8%	
	証言・資料集	20,000	4,700	4,700	23.5%	
	その他	20,000	0	0	0.0%	
4	雑収入	5,000	0	0	0.0%	
5	前期繰越金	0	0	0		
6	特別会計より繰入	0	0	0		
	合 計	1,445,000	414,028	414,028	28.7%	
歳出						
1	事務費	60,000	29,033	29,033	48.4%	
2	広報費	220,000	0	0	0.0%	
3	会議費	30,000	30,000	30,000	100.0%	事務局会場費
4	追悼碑管理費	10,000	1,060	1,060	10.6%	電気代
5	活動費	750,000	29,083	29,083	3.9%	
	学習会等	70,000	24,165	24,165	34.5%	春のFW, 上映会(総会)
	追悼集会	500,000	0	0	0.0%	
	その他活動	180,000	4,918	4,918	2.7%	諸派遣費, 資料購入
6	他団体会費等	40,000	25,000	25,000	62.5%	4 団体
7	雑支出	35,000	10,540	10,540	30.1%	
	手数料	25,000	5,540	5,540	22.2%	
	その他	10,000	5,000	5,000	50.0%	太陽家具お花料
8	予備費	50,000	0	0	0.0%	
9	特別会計へ繰出	250,000	0	0	0.0%	
	小 計	1,445,000	124,716	124,716	8.6%	
10	繰越金	0	289,312	289,312		
	合 計	1,445,000	414,028	414,028	28.7%	

※ 寄付者(敬称略)

浅野 直人 石田 耕一 井上 洋子 呉 世 憲 大野 剛義 岡田美代子 金 静 媛
 佐藤セツ子 白川 猶子 徐 根 植 田中 豊 田村 尚子 戸井 雄二 鳥野小百合
 中田 光信 朴 順 子 原 よしえ 福田富美子 裴 学 泰 松元 一也 三宅 冬樹
 森次美代子 山内 弘恵 山本 昌男 油谷 重雄 湧川 静子 (その他匿名9名)

【追悼碑特別会計】

収入			支出		
科目	金額	備考	科目	金額	備考
繰越金	1,978,116				
繰入金	0		繰越金	1,978,116	
合 計	1,978,116		合 計	1,978,116	

【遺骨収集等特別会計】

収入			支出		
科目	金額	備考	科目	金額	備考
繰越金	1,736,514		DNA 検体採取鑑定	41,460	
繰入金	0		繰越金	1,695,054	
合 計	1,736,514		合 計	1,736,514	

以上感謝をもってご報告いたします。
 引き続きのご支援をお願い申し上げます。

運営委員会報告（2017年3月19日～2017年6月28日）

事務局長 小畑太作

【委員会開催】

1. 第1回 4月14日（金） 欠席2名。
2. 第2回 5月25日（金） 欠席3名。
3. 第3回 6月16日（金） 欠席4名。

【追悼ひろば】

韓国在住の美術家による絵画設置について地元美術家に相談。

【遺骨等収集】

1. 政府交渉のために国会議員に仲介を依頼するための交渉を準備。
2. 遺族データベースを引き続き拡充中。日本人1名のDNA検体採取解析。
3. 福岡で開催された「各地における遺骨の取り組みについての交流会」に委員を派遣。「遺骨奉還宗教者市民ネットワーク」に加入。

【学習会等】

1. 春のフィールドワークの立案と計画。
2. 夏の学習会を「健文会平和フェスタ2017」の担当と併せて開催することとし、同実行委員会に委員を派遣。
3. 韓国・民族問題研究村晋州会FW 5月26日（金）受入。参加者は40名程。

【総会準備】

1. 議案の策定と資料作成及び発送作業。
2. 映画「払い下げられた朝鮮人」上映準備と実施。

【宇部市長との協議】

第33回問題解決協議会を5月8日（月）福祉会館にて開催。宇部市当局4名、当方11名が出席。当局側が人事異動で大幅に顔ぶれが変わったこともあり、またこの間の連絡遅延をはじめとする対応の問題も含めて、協議の歴史的意義や目標を再確認した。個別の課題については、次回より本格協議を再開することとした。第34回は6月30日（金）福祉会館において。

1. ピーヤの説明板について

「長生炭鉱のピーヤ（旧長生炭鉱排気竪坑）に関する説明板についての要望」について、第一次×切を6月15日とし第一次募集実施。197名の賛同者を得、第34回協議会にて提出予定。

2. ピーヤ等の保存

護岸工事によるピーヤ前海岸に降りられなくなることにについて宇部市水産振興課と改めて協議。歴史的意義のみならず観光資源としての価値と有効利用を提言すると共に、宇部市観光推進課も協議に加わるよう要請。

3. 市民への教育

「宇部市石炭記念館」への展示提案のため、CG化を専門家に依頼中。

4. 市議会議員の理解と協力を得るため「市議会議員との懇談会」を立案。

【資料収集】

1. 犠牲者 中元琴二さんの甥の中元寿一さんへの聞き取り実施。
2. 近隣住民 坂田稔光さんへの聞き取り実施。

3. 紙媒体資料と映像資料のいずれも、デジタル化を進行中。将来的にはインターネット上にライブラリを解説し設置していく予定。

【資料の発行】

1. 韓国で出版されている長生炭鉱に関する書籍二冊の内『角が出た海』の日本語版出版に向けて「アジアセミナーハウス」と協議。今後の協力を確認。また、翻訳者を決定し下訳作業中。

【山口朝鮮初中級学校への助成金停止問題】

1. 山口県ネットワークとして12月16日付で山口県知事に提出した要望書に対する回答を得て協議（6月7日（水））。文書回答がないこと、回答が不十分であることから7月12日（水）に再協議をすることとした。

2. 山口県教委へ改めて「質問と要望」を提出（5月23日付）。しかしこれに対して山口県教委は、2月13日付回答の通りとのみ回答（私学については回答する立場にない）。

3. 宇部市議会への請願の『議会だより』への不適切な報告について12月20日付で議長より対応しないとの回答。1月4日付で再度の要望をするも未だ回答なし。

【その他】

1. 宇部市平和運動団体等活動費助成金制度という市民の知らない制度によって「宇部市日の丸會」と「日本会議山口宇部」主催の「建国記念の日宇部奉祝大会」「天皇誕生日宇部奉祝大会」に過去30年以上に亘り助成していることに対して、地元4団体と

訃報のお知らせ



運営委員を務めてく
ださっていた藤井和
義さんが4月2日に
亡くなりました。

享年 84 歳。

藤井さんは、20 年以
上宇部山岳会所属し
ておられました。

心よりご冥福をお祈
ります。

他の事項は「活動日誌」をご参照下さい。

- 共に1月17日付で「抗議と要望」を提出。
これを受けて宇部市は、2017年度につ
いては交付しないこととしたが過去交付に
ついては対応を拒否。また質問に対して
全く不十分な回答しか得られていないため
対応と協議を継続することとしている。
2. 「無窮花友好親善の会」第11回総会5月
28日(日)に委員を派遣。
3. 駐広島大韓民国総領事と会食5月31日
(水) 課題への取り組み協力継続を確認。
4. 共同アピール「安倍政権は、朝鮮半島の
戦争の危機を力ではなく対話によって解決
することをめざせ！」に賛同
5. 「沖縄恨之碑の会」に加入
6. 「中国人戦争被害者の要求を支える京都
の会」の集会募金に協力。

活動日誌

(前回たより以降)

2017年

※太字：詳細は記事にて紹介

- ▽3月24日(金) 『刻む会たより No.64』発送作業
- ▽3月25日(土) 上関原発を建てさせない山口県
民大集会マルシェに出店
- ▽3月25(26)日(土・日) 第10回 強制動員真相
究明全国研究集会
- ▽3月31日(金) 「建国記念の日宇部奉祝大会」並
びに「天皇誕生日宇部奉祝大会」への助成金交
付に関する抗議と要望についての協議
- ▽4月12日(水) 山口朝鮮初中級学校補助金力ッ
トに対する山口県庁前座り込み・座談会
- ▽4月14日(金) 第1回運営委員会
- ▽4月29日(土) 春のFW
- ▽5月8日(月) 総会議案書発送作業
- ▽5月10日(水) 山口朝鮮初中級学校補助金力ッ
トに対する山口県庁前座り込み・座談会
- ▽5月25日(木) 第2回運営委員会
- ▽5月26日(金) 民族問題研究村晋州会 FW
- ▽5月28日(日) 無窮花堂第11回総会
- ▽5月31日(水) 駐広島大韓民国総領事との会食
坂田稔光さんへの聞き取り
- ▽6月7日(水) 山口朝鮮初中級学校補助金力ッ
トに対する山口県との協議・座り込み・座談会
- ▽6月16日(金) 第3回運営委員会
- ▽6月23日(金) モンダンヨニビルコンサート
- ▽6月25日(日) モンダンヨニビルFW
- ▽6月27日(火) 中元隆枝さんDNA採取
- ▽6月30日(金) 第34回長生炭鉱水没事故問題解
決協議会

総会報告

第4回(2017年度)定期総会が5月20
日、宇部緑橋教会にて開催されました。

正会員数98名(2017年5月8日現在)
のところ、実出席19名、委任状出席28名 計
47名の出席によって、議長・島徹史 書記・
山内弘恵の下、活動報告・会計報告、会計監
査報告、活動方針・予算案及び役員について
審議が行われました。

結果、議事録署名人 岡崎絹江・高田穰、
会計監査委員 真鍋みどり・宮本輝男 以上
の役職を選任し、全ての議案が満場一致で承
認されました。

なお、議案書をご覧になりたい方は、事務
局までご連絡ください。



「たより」同封物

- ☆夏の学習会チラシ
- ☆振替用紙